

- 名前 中堀 明美 (なかぼりあけみ)
- 生年月日 1985年 10月12日(28歳)
- 家族構成 B型 自己中と言わないで下さい(笑)



筋肉が自慢の夫、やんちゃな息子(4歳)、笑顔が素敵な娘(10か月)です。休日には家族で近場の温泉へよく行きます。子供達は大浴場に大興奮!! 旦那さんと私はサウナで汗を流した後に飲むビールが至福の時!

- 長所 切り替えが本当に早いです。嫌な事があっても次の日には立ち直ります。
- 短所 妄想癖、被害妄想が激しいです...
- 出身 広島県尾道市
- 趣味 映画(DVD)鑑賞...私の一番好きな映画はトム・ハンクス主演の「グリーンマイル」です。刑務所で大きな体の死刑囚の男が不思議な力で次々と奇跡を起こして周囲を癒やしていくも... (続きはDVDでご覧ください。)純粋に人を思う優しさを与えてくれる作品です。

●古美術で一番好きなもの

志野焼、織部焼の陶器が全般的に好きです。中でも手鉢(てばち)が可愛くて好きです。可愛い手鉢を見たら無性に玄関に飾りたくなります。志野焼の中でも鬼志野焼のポコポコとした焼き方が好きです。織部焼は絵柄のデザインがすごく可愛いので同じ焼魚でも織部焼のお皿で食べるとよりいっそう美味しく感じますよね。可愛いお皿、手鉢、などがあると社長におねだりして譲ってもらいます(笑)



鬼志野茶碗



織部手鉢



織部角皿

お客様のコメント

広島県の土砂災害がありましたがお心配しております。大丈夫でしたか? (福島県 K様より 兵庫県 K様より)

ありがとうございます。幸い尾道市は被害がありませんでしたが、被災された方のお気持ちを察すると胸が痛く、言葉が出ません。被災でおせくなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方に心からお見舞い申し上げます。(大名スタッフ一同)

「大和魂」を拝見しました。スタッフ皆様の業務内容が良く理解出来ました。更なる飛躍を期待します。「大和魂」を拝読後、オークションリストに興味ある鍔が出品されてます、ご縁があれば。(広島県 N様より)

ありがとうございます。いつもご利用して下さい誠にありがとうございます。N様とのご縁がこれからも続きますようにN様が興味を持たれる商品をお出しして行きたいと思っております。引き続きご覧下さい。(中堀) またお探しの商品がありましたらお申し付け下さい。必ず見つけます! (花本)

刀の登録書で日付が読めません。所有者変更届の記入する欄へはどうしたらいいですか? (愛媛県 F様より)

ありがとうございます。登録書には昔の漢字や経年の末文字が薄くなり読み取れない物もございます。その場合、「読めませんでした」というメモ書きを添えて、登録書のコピーを登録書に書かれております教育委員会へご提出下さい。(中堀)

歴史コーナーを楽しく読ませて頂きました。そんなに歴史が好きな方が扱われている骨董品だと思えると信用できますし、共感もできます。(鹿児島県 I様より)

大名の目指して行く姿を、お言葉にして頂きありがとうございます。これからも、古美術品はもちろんです。日本の歴史を発信して行く企業を目指して行きます (花本)

ありがとうございます。社長はコメントを見て感極まっております(笑)そう言ってもらえると仕事頑張れます!!(中堀)

ホームページ <http://daimyou.com/>

広島県尾道市栗原町3341-6

TEL.0848-29-6013 FAX.0848-29-3937

大名

有限会社

ホームページ  
リニューアルしました

届きますっ! 大和魂 2014年10月 Vol.2

—経営理念—

有限会社大名は「届きますっ大和魂!」を合言葉に日本の歴史、古美術を発信し貴方(お客様)の趣味を応援するタイムマシーン企業を目指します

—目次—

- 1 地元尾道の花火大会に行ってきた
- 2 ハナモンのタヌキスリッパ
- 3 語ります大和魂
- 4 クイズ! 貴子の部屋
- 5 中堀プロフィール
- 6 お客様のコメント

皆様、食欲の秋がやってきましたね。おいしい秋の食べ物をたくさん食べてしっかり体に栄養をたくわえて寒い冬を乗り切りましょう。

大和魂

語ります

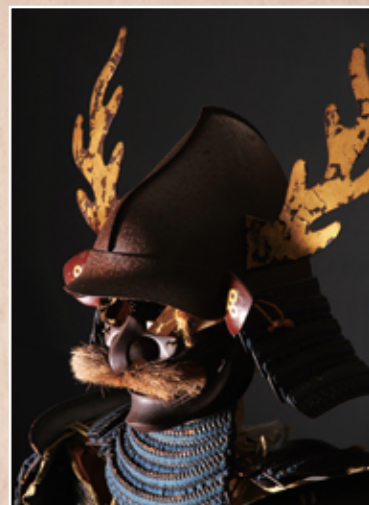
この度、語らせて頂きます中堀明美(なかぼりあけみ)です。私が社内で一番かっこいいと思う鎧(菱織横剥二枚胴具足)について語らせて頂きます。この鎧をみて、パツ!と最初に目があったのは兜です。兜の鉄味と鹿角脇立の雰囲気がかっこよくて好きです。

何故、鹿の角を模っているかという鹿は神の使い、吉祥天(きちじょうてん)の乗り物であったといわれ、敵の矢を避けると信じられていたそうです。吉祥天とは仏教の守護神の一柱(ひとはしら:神の単位)で、女神です。幸福、美、富をあらわす神とされています。今は七福神で唯一の女神は弁才天(べんざいてん)ですが、当初は吉祥天だったといわれています。主に貴族から崇拝されていた吉祥天に対して、庶民から崇拝されていた弁才天が一般的になったためだそうです。

鹿の角を模ったものを使っていた有名な武将は本多忠勝(ほんだただかつ)、真田信繁(さなだ のぶしげ:後の幸村 ゆきむら)がいます。共に勇猛な将として知られています。本多忠勝と鹿について、こんなエピソードが残っています。織田信長が今川義元を討った、桶狭間の戦い(おけはざまのたたかい)の翌年に忠勝は松平元康(まつだいら もとやす:後の徳川家康)に次に攻め入る領地の下調べを命じられました。その帰りに悪天候が続いていた為、増水した川を渡れずにいました。その時に忠勝の目の前に一匹の鹿が現れました。その鹿は増水した川を忠勝の目の前を渡り始めたのです。それを見た忠勝は浅瀬があることが分り、無事に川を渡れたそうです。神の使いである鹿が自分を助けてくれたと信じた忠勝は鹿角兜を製作したそうです。本多忠勝は参加した戦場で、生涯一度も傷を負っていないといわれています。忠勝自身の強さもあると思いますが、神のご加護のお陰もあるのでは!?

真田信繁が鹿の角兜を被っていたのは父(真田昌幸 さなだまさゆき)から譲り受けたものだそうです。勝手な想像ですが、形見の兜を身につける事で、父と共に再び戦っているという意識を持っていたのかもしれない。他に、真田家と言えば六文銭(ろくもんせん)の家紋で有名かと思いますが、六文銭は仏教の世界でいう六道銭(ろくどうせん)のことだそうです。六道銭は三途の川の渡し賃、通行料とされており、死者を葬る時に遺体と一緒に埋めていました。真田氏は六文銭を用いることで、戦いや日頃の駆け引きにおいて、死をもいとわぬ不借身命(ふしゃくしんみょう)の決意で望んでいたのではないのでしょうか。

戦国時代の武将たちは、常に死と隣合わせだった為、身に着ける物に縁起の良い物、生き物を模って使用していたのでしょね。この鎧を発注した武将も縁起を担ぎ、鹿の角を模った脇立を使用したのでしょね。



鹿角脇立付桃成兜



菱織横剥二枚胴具足



真田幸村



吉祥天



本多忠勝



### 地元尾道の

## 花火大会に行ってきました



皆様暑い夏をいかが過ごされたでしょうか。  
日本の夏の風物詩といえば花火ですね。  
皆様、花火大会には出かけられましたか？  
私は今年も尾道の住吉の花火大会に行ってきました。

尾道では、水中花火・スターメイン(速射連発花火)・早打ち・音楽花火を中心に毎年一万三千発の花火が打ち上げられます。花火の打ち上げ数は日本一とまではいきませんが、山口県の関門海峡花火大会と並んで中国地方で一番の打ち上げ数です。

尾道の「住吉花火大会」(すみよし)の歴史は長く、なんと江戸時代中期、寛保元年(かんぼう:約279年前)から続いている伝統の花火大会です。

尾道の町奉行に着任された平山角左衛門(ひらやまくさくざえもん)が、着任一年後に住吉浜を築造し尾道浄土寺境内にあった住吉神社をこの住吉浜に移して港の守護神としました。その功績を称える為と、古くから商都と知られている尾道・住吉浜の海産物問屋をしている旦那衆が商売の繁盛と海上交通の安全を願って始められたそうです。その為正式名称は「住吉神社例大祭」(すみよしじんじやれいたいさい)といい、住吉神社に花火を捧げ神様をお招きするお祭りです。



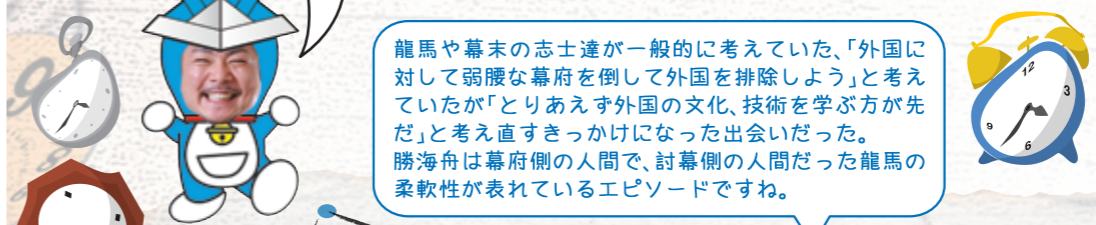
花火の打ち上げは船の上で、打ち上げ台船は住吉神社に向かってほぼ垂直に設置されています。これは、神様に花火を一番いい角度から見て頂く為でしょう。きっと住吉神社の神様も楽しんでいることだと思います。

江戸時代には西の両国花火とさえ言われた華やかな花火大会だったそうです。現在では「思い願い祈り」で、商都であり海事都市である尾道の繁栄・商売繁盛・さらに海上・陸上での安全を祈願し、花火を打ち上げられているそうです。

今年は尾道の歴史を学んだ上で花火を見たので、ただ花火を楽しむだけでなく、尾道の繁栄・日本の繁栄・世界平和をお祈りしました。

そして、いつまでもこうしてお客様と通じ合える機会が続きますように…  
(島谷)

## ハナエモンの タ〜イムスリップ



坂本龍馬編  
地に帰って剣術道場でも出来たらいいな…ぐらゐの気持ちだったかもしれない龍馬が時代が動いていくのを感じた事件だったかも。

龍馬や幕末の志士達が一般的に考えていた、「外国に対して弱腰な幕府を倒して外国を排除しよう」と考えていたが「とりあえず外国の文化、技術を学ぶ方が先だ」と考え直すきっかけになった出会いだった。勝海舟は幕府側の人間で、討幕側の人間だった龍馬の柔軟性が表れているエピソードですね。

### 七、大政奉還 32歳

内戦を避けたい龍馬は政権を徳川幕府から朝廷に返還させる為に土佐藩を通じて大政奉還建白書を提出させ、15代将軍徳川慶喜がこれを受け入れ、政権は朝廷に返還されました。

※時勢に乗りみたい土佐藩は薩長とも関係の深い龍馬と会談し、脱藩の罪を放免して龜山社中を土佐藩の組織になり、名称を海援隊と改称していました。

土佐藩は龍馬の盟友であった下級武士だった武市半平太や土佐勤王党員を多数、処刑していました。自身の憎悪を抑え日本の為にと土佐藩と手を組んだのです。この度量の大きさは最高にカッコイイ。

※龍馬は武力に依る倒幕ではなく、金座、銀座(貨幣を鑄造するところ)を抑えれば、自然に徳川のカも弱まると考えていたそうです。

龍馬は幕府の官僚達とも親交があった為、経済的な倒幕という考え方が持てたのでしょうか。

大政奉還が成立し、新政府候補の名簿を作成した龍馬は西郷隆盛(さいごう たかもり)、大久保利通(おおくぼ としみち)、小松帯刀(こまつ たてわき)ら薩摩藩の重臣達に提案しにいきました。その名簿に龍馬の名前がないのを不思議に思った西郷に対して、「わしは世界の海援隊でもやりますかいのお〜」と答えたそうです。

この場面は僕が思う、龍馬人生一番にカッコイイところ。私欲じゃなく国の為！土佐藩と手を組んだのも、内戦を避ける為に大政奉還させたのも、全て国の為。当時、藩、幕府という概念を取っ払って日本人として生きた坂本龍馬の全てが現れている場面です。

※この状況は明治政府でカミソリ大臣と呼ばれ、外務大臣として不平等条約の改正に尽くした、陸奥宗光(むつ むねみつ:海援隊隊士)が龍馬と同席して証言しています。

### 八、暗殺 33歳

1867年11月15日京都・近江屋にて。くしくも龍馬の誕生日でした。盟友の中岡慎太郎と話しているところを共に暗殺されました。※興奮すると刀を抜きかねない中岡と龍馬は、刀をすぐそばに置いていなかったそうです。※ほんの数分での斬り合いの最中も、龍馬は中岡を偽名で呼んでいたそうです。

※反幕府側の志士達は偽名を使って活動をしていたそうです。※龍馬は即死でしたが、中岡は三日後に亡くなるまでに当時の状況を語ったそうです。※1868年は明治元年です。



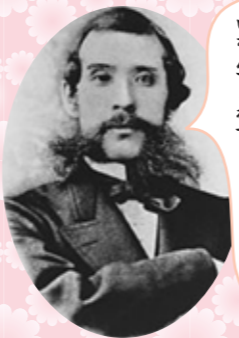
### もし暗殺されてなかったら

歴史に「もし」はないですが、もし龍馬が暗殺されずに明治まで生きていたら政治家としての龍馬ではなく、商人としての龍馬は現代にも残る、企業を作っていたと思います。三菱財閥創業者の岩崎弥太郎は土佐藩出身で龍馬と同じ時代に生き、龍馬から多大な影響を受けた人物です。三菱財閥の全身である三菱商会の社則は龍馬の龜山社中の社則とほとんど同じだったそうです。三菱商会の最初の頃の事業は龜山社中と同じで、交易の仲介、運搬だったそうです。龍馬が明治まで生きていたら、坂本銀行とかがあったかも…。政治家としても一流で、商人としては超一流だったかも。



## クイズ!

# 貴子の部屋



日本の〇〇の基礎を作ったのはこの私だ。これくらいは答えられないといかないでござす

ニュースレターを読んで頂き誠にありがとうございます。突然ですが前号で一番反響の大きかった、「大久保利通」からクイズを出題したいと思います。歴史に興味のある方が多かったので社長もとても喜んでいました。それでは、問題です。

大久保利通さんは、日本の〇〇の基礎を築いたそうですが、皆様覚えていらっしゃいますか？

〇〇に入る言葉をお答えください。皆様からの解答を心よりお待ちしております。メールかFAX、お電話でも構いません。どしどし解答をお寄せください。

正解した方の中から  
抽選で3名様に ☆大名お勧め☆

給湯流セット(お抹茶を簡単に点てられるセット)& 大名オリジナル茶碗  
(希望があればお客様の名前が入れられます)をプレゼントいたします。

